

アトウトウミャンマー支援 活動趣旨・賛同者

この度は、アトウトウミャンマー支援へご賛同いただきありがとうございます。引き続き協働させていただきたく、みなさまからの提言、祈りをお願いいたします。

設立に至る経緯 そして呼びかけ

2020年、コロナ感染拡大によって、日本に住む多くのミャンマー人は苦境に陥りました。さらに2021年2月1日、ミャンマーにおける軍事クーデターにより、在日ミャンマー人は帰国困難となりました。民主化を求めるミャンマー市民の声は暴力で封じられ、独裁支配によって7月末までで940人を超える人々が殺され、日本でもミャンマー人たちは、この状況を無視しないで欲しいと働きかけを続けています。2月12日から有志で始められた「ミャンマーを覚える祈り会」は、7月末で25回目となり、毎回90人前後の人々が毎週集まり祈ってきました。この祈り会が、具体的な働きの一つとして、在日ミャンマー人に対する生活支援を行う「アトウトウミャンマー支援」を生み出しました。（「アトウトウ」とは、「共に」という意味のビルマ語）。

在日ミャンマー人、そしてミャンマーの現状

現在、日本国内に住んでいるミャンマーにルーツを持つ人々は35,000人にも及ぶと言われています。この中には「出頭」していない期限切れビザを持つ人々もいます。

1980年代以前は「留学」がミャンマー人の来日理由のトップでした。その後、1988年のミャンマー軍事クーデター後、先に日本に住んでいたミャンマー人を頼り、来日するミャンマー人が増えました。日本に逃れてこられた方々は、難民申請をしても何度も拒絶され、収監、仮放免を繰り返し、オーバースティの方は息を潜めて、生き残りをかけて必死に日本での生活を維持してこられました。

日本政府は、2010年以降、第三国定住を進める政策を立て、毎年30人のミャンマー人難民受け入れを表明しました。初年度、三重県、千葉県への定住者として5家族27人を難民として受け入れました。この計画難民の日本での生活の実情は過酷なものでした。日本での生活適応は相当難しく、言語、文化、宗教、どれをとっても、この計画難民にとって日本は生きづらい国だったのです。翌年以降は日本への移住については次々と辞退者が出ています。日本の政策上の難民受け入れは、ミャンマー人の生活習慣、文化への無理解が著しいもので、日本へ適応させる矯正、同化政策であったため、事実上、失敗といえます。

一方、日本政府の政策とは裏腹に、弾圧を逃れようとするミャンマー人は、つてを頼り、短期ビザ、偽ビザなどを入手して、日本に来られ、難民申請を続けて日本で生活してこられました。日本では、難民認定は保護目的で審査されず管理目的であるため、2021年6月現在、35,000人のうち、2,500人近くが難民申請を複数回繰り返し、却下の不服申し立てを続けて闘っている状況です。2021年クーデター後もそのままの状況で、帰国困難者への手当は進んでいません。その間、彼女、彼らは、就労できない、国民健康保険に加入できないという命を脅かされる危機的状況に追い込まれています。その他の在留者は、1年もしくは3年の在留特別資格、または永住資格によって日本で生活しています。また、技能実習生の労働環境は劣悪なところもあり、実習先で体調を著しく崩し、休むとペナルティが課せられるため心身ともに疲弊したまま、逃げる人もいます。その後は、ヴィザ切れにより隠れて生活することとなり、生活状況は悪化しています。

帰国困難となったミャンマー人留学生、技能生のヴィザの期限は刻々と迫っています。日本政府は5月28日ミャンマー人への特別緊急避難措置を発表しましたが、在留資格保持者は変更申請ができて、2500人近くいる難民申請者、つまり「非正規」とされている在留ミャンマー人が送還対象を免れていない状況は今も続いています。88年の際に逃げてきた本人とその子孫たちは、30年にわたって日本で生活基盤を築き上げ、この状況の中でミャンマーに帰国することは困難です。

軍事クーデターによる凄惨な暴力に対して、日本でもミャンマー人支援を志す人々は多くおられます。しかし、60年間にわたるミャンマー国内での少数民族とビルマ民族との戦闘や、ミャンマーをアジア最後のフロン

ティアと呼び、莫大な債務免除をする代わりにミャンマー人から労働搾取をし、同時に在日ミャンマー人に対しては排他的な政策を取り続けてきたことは見過ごされてきました。

このような日本のミャンマー国に対する無理解、利権主義的な態度が、在日ミャンマー人を生きづらくし続けてきました。ミャンマー人支援を志す人々に、在日ミャンマー人の現状についても考えていただき、今一度、日本とミャンマーとの関わりを捉え直し、和解と平和実現のための協働の道を歩みたいと考えています。ミャンマーの平和と自由、民主化を求めるのであれば、この国に共に住むミャンマー人の具体的な生活支援へと私たちは進むようにと神から促されていると思います。

ミャンマーにおいては国軍からの暴力により、現在も不当逮捕、拘束されている人々がおり、さらには市民不服従運動への参加者に対する追跡と懲罰、拷問、が行われています。さらに、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、国軍は酸素ボンベの供給を国軍の支配下におき、市民は治療へのアクセスが困難となっています。検査を受けた人々のうち陽性率は7月末現在で4割を超え、治療を受けることができずに亡くなった方々のご遺体を埋葬することすらできない状況が報告されています。

食糧、現金、酸素の不足の中で人々は命も奪われるのかと国際社会に向けて懸命な支援要請をしています。必要などころへ必要な支援が届けられない国軍の妨害や横取りが続いています。

このような中で、在日ミャンマー人たちが心引き裂かれる思いにさせられることへの共感を強くし、ミャンマーへの直接支援も本団体から行っていきたいと考えています。

刻々と状況は変化、悪化しています。みなさまのご賛同をいただき、支援の糸を張り巡らせて一枚の柔らかい布を織りなすようなしなやかな支援を続けていきたいと思っています。

2021年8月1日 (設立集会にて)

アトウトウミャンマー支援 代表 マキンサンサンアウン／渡邊さゆり

活 動

1. 在日ミャンマー人の日本での安定した生活を実現するための相談・同行支援

- 1) 在留資格に課題を持つミャンマー人に対するヒアリングと相談活動
- 2) 入管への同行支援
- 3) 在留資格取得後のフォロー（住民登録、国民健康保険加入、就労支援など）
- 4) 病院、役所など、手続き上の同行支援や通訳支援

2. 日本での安定した生活を実現するための日本語学習・文化交流の支援

- 1) 日本語学校での就学が経済的、時間的に困難なミャンマー人の日本語学習を支援
- 2) 居住地域の外国人支援団体への連絡と連携
- 3) 他のミャンマー人コミュニティとの交流や、地元市民との出会いと交流活動を支援

3. 日本での安定した生活を実現するための経済支援

- 1) 物品製作と販売の支援
- 2) 帰国が困難な困窮者への緊急一時金の支給

4. ミャンマー本国の困窮者への支援

- 1) 在日ミャンマー人がおこなうミャンマー本国への支援のサポート

5. 情報発信

- 1) 2カ月に1回、ニュースレター日本語版（2～4ページ）を発行して、「アトウトウ ミャンマー支援」の活動を報告。PDFをメールで賛同者や関係団体などに送信。
- 2) 運営態勢が整ったら、ニュースレター日本語版・ビルマ語版を定期的に発行して、「アトウトウ ミャンマー支援」の活動報告と、在日ミャンマー人の意見や証言を紹介。PDFをメールで広く日本社会に発信。

運営の方法

世話人会を設け、活動の状況と今後について定期的に話し合いを行います。

献金先

郵便局備え付けの青色払込票

(振替口座宛)で

00190-4-119379

加入者名：外キ協

通信欄に「ミャンマー」と、記してください。

引き続き、ご賛同者、団体を受け付けています。賛同者の連絡は s.watanabe@cmim.jp までお名前と肩書き、団体名をお知らせください。

ご賛同者 (敬称略)

2021年10月27日 現在

相浦めぐみ	
有住航	日本基督教団下落合教会・マイノリティ宣教センター運営委員
井形英絵	埼玉県
石居基夫	ルーテル学院大学 学長
石塚多美子	瀬戸田バプテスト教会
伊藤世里江	シンガポール国際日本語教会牧師
稲垣博史	日本福音キリスト教会連合岩井キリスト教会国内宣教師・聖書同盟 理事長
伊原敦子	成瀬が丘キリスト教会 日本基督教団
岩崎秀子	常盤台バプテスト教会
上野耕一	肢体障害者・関東学院教会会員
遠藤真理	福音ルーテル藤が丘教会員 横浜YWCA 会員
大石若菜	日本バプテスト連盟 ふじみキリスト教会員
小笠原公子	神奈川県
岡田 薫	日本福音ルーテル教会 帯広教会 牧師
岡村直子	日本バプテスト連盟 日本バプテスト東京第一教会
越智 都江	奈良県
小野梓	東京都
鏡一太	団体職員、機関紙編集
かくのぶえ	羊毛フェルト教室主宰
加藤泉	日本バプテスト連盟大井バプテスト教会員
加藤誠	大井バプテスト教会
川口弾	塾講師
川内活也	日本バプテスト連盟 帯広バプテスト・キリスト教会牧師
川内裕子	日本バプテスト連盟 帯広バプテスト・キリスト教会牧師
河内理恵	NCC 女性委員会
菊地るみ子	日本バプテスト連盟大井バプテスト教会音楽主事

北澤泰子	飯能ルーテル教会
北村加奈子	大阪府高槻市
絹川久子	フェミニスト聖書神学者
木村真知子	市川八幡キリスト教会会員
工藤万里江	
久保親哉	日本バプテスト厚木教会
桑村カンナ	神奈川県
後藤健一	日本聖公会名古屋聖マタイ教会信徒
小林幸子	東京都
駒込平和教会	駒込平和教会
小山櫻子	大師新生教会員
斎藤 成二	明石ベテル教会
在日大韓基督教会社会委員会	
坂元俊郎	日本バプテスト連盟 湘南台バプテスト教会
佐々木和之	プロテスタント人文社会科学大学教員/日本バプテスト連盟ルワンダ派遣国際ミッションボランティア
佐々木恵	ウムチョニャンザストア代表
佐藤惇子	日本バプテスト厚木教会
佐藤信行	在日韓国人問題研究所
潮江亜希子	神奈川外キ連
柴田朋子	日本聖書神学校
陣内大蔵	牧師 & シンガーソングライター
申英子	日本キリスト教団西九条ハニル教会牧師
鈴木英司	神奈川県自営業
鈴木利子	神学生
鈴木律代	横浜南キリスト教会
須藤伊知郎	西南学院大学神学部教授
平良愛香	日本キリスト教団川和教会牧師
高橋愛	日本バプテスト連盟岡山バプテスト教会員
高橋彰	関東学院教会牧師
高橋周也	日本バプテスト連盟岡山バプテスト教会 牧師
高本由美	神奈川県
高屋和子	飯塚バプテスト教会（福岡県）牧師
竹内すなお	横浜市
丹野信子	日本バプテスト同盟 駒込平和教会員
丁野雅子	日本バプテスト相模中央キリスト教会
塚田好四郎	関東学院教会 教会役員 教会学校校長
津戸 眞弓	大阪 YWCA 会員
土井直彦	牧師
富田正樹	京都府
中嶋名津子	日本バプテスト浦和キリスト教会

中原眞澄	日本基督教団内丸教会牧師
中原（生鷲）陽子	日本基督教団内丸教会牧師
永松博	日本バプテスト連盟白杵キリスト教会
西間木 公孝	日本キリスト教団 新得教会牧師
ニニミン	
日本カトリック正義と平和協議会	
日本キリスト教会 荻窪北教会	
日本キリスト教会 人権委員会	
日本基督教団部落解放センター	
寝屋川キリスト教会	
野本佳子	カトリック修道女
林泉	駒込平和教会員
林寿恵	駒込平和教会員
原田玉枝	潮来市
東田幸子	寝屋川キリスト教会員
比企敦子	NCC 教育部
ひだか いかり	川崎市
蛭川潤子	日本バプテスト女性連合
福山裕紀子	日本キリスト教団会津若松教会牧師
藤田 誠	聖職候補生
藤田美土里	日本聖公会 東京教区 聖職候補生
藤原佐和子	NCC 書記
部落解放大東・四條畷共闘会議	
古庄祥子	神奈川県横浜市
平和を実現するキリスト者平和ネットワーク	
堀江有里	日本基督教団牧師（京都教区巡回教師）
マイノリティ宣教センター	
前田いち子	日本バプテスト連盟 青葉キリスト教会
牧 由希子	CWS Japan ディレクター
松坂克世	日本バプテスト静岡キリスト教会牧師
松中みどり	兵庫県 宝塚市 語学講師、フィリピン教育支援ボランティア
松村光司	池田バプテスト教会、北豊中教会 牧師
松本浩美	フリーランスライター
丸山大二郎	運河キリスト教会 伝道師
三吉小祈	日本基督教団広島府中教会牧師
村本 裕哉	前墨田区議会議員
目黒恵子	飯能ルーテル教会
森口あおい	
森小百合	東京都新宿区在住／NCC 在日外国人の人権委員会
森泰子	大阪府高槻市

八木麻里	東京都世田谷区
矢田部康夫	大師新生教会協力牧師
山内英子	日本キリスト教団湖山教会教会員
山口里子	
山田三千江	神奈川県
吉高叶	市川八幡キリスト教会牧師・NCC 議長
吉高 路	日本バプテスト連盟市川八幡キリスト教会員
吉谷かおる	北海道
吉田瑠都	恵泉バプテスト教会員
吉永祥三	日本語教師
米本裕見子	日本バプテスト女性連合
ラパイトウエノ	松島キリスト教会 伝道師
渡邊和江	寝屋川キリスト教会

この働きにみなさまと共に従事できることを心から感謝いたします。

マキンサンサンアウン (杉並中通教会 牧師)

渡邊さゆり (駒込平和教会 牧師 マイノリティ宣教センター共同主事)